

## 第3学年 国語科学習指導案

児童 3年1組 男16名 女22名

指導者 松浦 直樹

(すこやかサポート 佐々木 梓)

### せつめいのしかたを考えよう

中心教材「すがたをかえる大豆」(光村図書3年下)

#### 〈指導事項〉

- ◎目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。(読むイ)
- ◎目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を引用したり要約したりすること。(読むエ)

#### 〈言語活動〉

- ◎ミニ「すがたをかえる大豆」を書く。

#### 1. 教材について

「すがたをかえる大豆」について

- ・身の回りにあふれている大豆やその加工品について書かれており、児童が身近なものとして考えることができる。
- ・大豆の加工品は、見ただけでは大豆からできているとは思われないものも多く、児童が意外性をもって学ぶことができる。
- ・段落構成や中心文、キーワードが明確であるため、説明文を書く活動の良い参考例になる。
- ・文章構成は、「ありの行列」のような仮説・検証型の構成とは異なり、「はじめ」に説明する対象を提示し、それについての説明を行う解説型で、以下のような構成になっている。

構成	段落	内容	接続語
はじめ	①	ほとんど毎日食べているが、意外と気づかれていない大豆。	
	②	おいしく食べるためにいろいろくふうされている大豆。	
中	③	いったり、にたりするくふう。	いちばん分かりやすいのは
	④	こなにして食べるくふう。	次に
	⑤	えいようだけ取り出して、ちがう食品にするくふう。	また
	⑥	小さな生物の力で、ちがう食品にするくふう。	さらに
	⑦	とり入れる時期や育て方を変えて食べるくふう。	これらのほかに
終わり	⑧	多くの食べ方が考えられた理由。	このように

#### 2. 児童について

児童は、これまでに、『読んで、かんそうをもとめ』(「イルカのねむり方」「ありの行列」)で、段落の中心をとらえること、「問い」と「答え」という基本的な構造をとらえることを学習してきた。また、「問い」の文を作る(リライト)ことにより、「問い」の一文だけでなく、「問いの段落」を意識することができた。しかし、多くの児童は、大まかに内容は読み取ることにはできるが、細かい内容がどの部分に書かれているかすぐにはつかめない児童がやや多い傾向がある。

### 3. 指導にあたって

指導にあたり、以下の点に留意していく。

第1次では、本単元の他に、次単元「食べ物のひみつ教えます」にもふれることで、活動のイメージや目的意識をもたせ、学習への意欲付けを図る。

第2次では、段落の内容をとらえるために、キーワードや中心文を手がかりにして読み取らせる。

「はじめ」には「問い」が提示されていないことから、1学期の説明文教材での学習を生かし、「問い」を作る活動を通して、「問い」を意識しながら「中」を読み取っていけるようにする。

「中」や「終わり」では、内容を短くまとめて、ミニ「すがたをかえる大豆」につなげていく。

説明の仕方をとらえる段階では、くふうを視点に段落が構成されていること、段落の順序に筆者の論の展開の工夫があることに気付かせる。

第3次には、第2次でまとめたことをもとにして、ミニ「すがたをかえる大豆」を書かせる。

### 4. 単元の目標

- ・中心となる語や文をとらえ、段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解することができる。
- ・内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読むことができる。

### 5. 単元の評価規準

【関】文章の内容に関心をもち、文章構成を理解しながら読もうとしている。

【読】・中心となる文や大事な言葉に気をつけて音読している。(1)ア

・「問い」の形をとらない話題提示があることを理解し、中心文を確かめながら説明されていることを整理している。(1)イ

・「はじめ・中・終わり」の構成に注意し、「中」に書かれた具体例を整理しながら読んでいる。(1)エ

【言】文章中の表現や言葉に注目し、辞書を使って調べている。(1)イ(カ)

### 6. 単元指導計画(7時間)

段階	ねらい	時間	主な学習活動	評価規準と評価方法	言語活動
見通す	単元の見通しや読みの目的をもつことができ	2	・次単元「食べ物のひみつ教えます」を提示し、わかりやすく説明するときにはどのように文章を組み立てればいいのか、そ	【関】大豆が様々な食べ方をされていることに関心をもちながら読もうとしている。(発言・観察)	≡  二

	る。		<p>の書き方の工夫を本単元で学ぶことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題を知る。</li> <li>・教材文を読む。</li> <li>・初発の感想を書き、感想を交流する。(1)</li> </ul>		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・語句調べをする。</li> <li>・段落に番号を振り「はじめ・中・終わり」に分ける。(1)</li> </ul>	<p>【言】文章中の表現や言葉に注目し、辞書を使って調べている。 (ノート)</p>	
深める	視点に沿って、教材文を読み取ることができる。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「はじめ」に書かれていることを読み取る。</li> <li>・「はじめ」の部分から、筆者の提示した話題をとらえ、「問い」の文を考える。<b>※リライト</b> 本時(1)</li> </ul>	<p>【読】段落の要点を読み取っている。(ノート)</p> <p>【読】「問い」の形をとらない話題提示があることを理解し、文章で説明されていることを整理している。(ノート)</p>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「中」を読み、手の加え方や大豆がすがたをかえた食品を確認する。<b>※リライト</b> (2)</li> </ul>	<p>【読】段落の中心文をとらえ、大豆がどのような食品にすがたをかえているかを読み取っている。(ノート)</p>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「終わり」に書かれていることを読み取る。</li> <li>・「中」の段落の説明の仕方の工夫を確認する。(1)</li> </ul>	<p>【読】段落の要点を読み取っている。(ノート)</p> <p>【読】例示をとらえ、その具体例を整理しながら読んでいる。(ノート)</p> <p>【読】説明のしかたの工夫について整理している。(発言・ノート)</p> <p>【読】写真の役割について考えながら読んでいる。(発言・ノート)</p>	
使う	学習したことを活かして書くことができる。	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リライトした「問い」の文や「中」で読み取った中心文を活かして、ミニ「すがたをかえる大豆」を書く。<b>※リライト</b> (1)</li> </ul>	<p>【書】学習したことを活用して、接続詞なども適切に使いながら文章を書いている。(観察・文章)</p>	

すがたをかえる大豆を書く

7. 本時の指導（第2次 3 / 7時）

(1) ねらい

- ・「はじめ」の部分に書かれている大まかな内容を読み取り、まとめることができる。

(2) 展開

段階	学習活動・学習内容	支援及び留意点
見通す 5分	<p>1. 前時までを想起する。</p> <p>2. 学習課題を確認する。 「はじめ」の段落を読み取ろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「イルカのねむり方」や「ありの行列」と同じように「はじめ・中・終わり」という文章構成だったことを確かめる。</li> </ul>
深める 35分	<p>3. 読み取りのための音読をする。</p> <p>4. 学習課題を解決する。 ・「はじめ」には、どんなことが書かれてあるか考える。 (一人学び) ・キーワードをもとにしながら中心文を探す。 ・探した中心文をわかりやすく書き直す。(リライト) (学び合い) ・一人学びで考えた文を発表する。</p> <p>5. 「イルカのねむり方」や「ありの行列」のように「問い」がないことを確認する。 ・「問い」の文を書く。 (リライト)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キーワードを確認する。 すがたをかえる 大豆 くふう 食品</li> <li>・中心文を考えながら①②段落を読ませる。</li> <li>・理由も一緒に考えさせる。</li> <li>・全体で確認する。</li> </ul> <p>〈評価〉</p> <p>A 中心文や大事な言葉をもとに、まとめたり言い換えたりして書くことができる。</p> <p>B 中心文をもとに書き直すことができる。</p> <p>Cへの支援 板書をもとにしながら考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「イルカのねむり方」や「ありの行列」での書き直しの経験を想起させる。</li> <li>・「大豆は、どのようなくふうをされて食品にすがたをかえているのでしょうか。」等の文に書き換える。</li> </ul>
まとめる 5分	<p>5. 学習のまとめをする。 ・学習感想を書く。 ・まとめの音読をする。</p> <p>6. 次時の学習の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の感想のもとになったことも書かせたい。</li> <li>・どんな工夫をして大豆をおいしく食べるようにしてきたか、「中」の部分を読み取っていくことを伝える。</li> </ul>